

問1 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。

1. ごみを外に捨てるため 2. ごみを細かく分けるため 3. ごみを適切に処理するため 4. ごみを家まで届けるため

問2 エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの大きな家電製品を捨てる時、法律によって決められた正しい捨て方はどれですか。

1. 販売店に引き取りを依頼する 2. 地域の粗大ごみとして出す 3. 自分で細かく壊して燃えるごみに出す 4. 近くの公園に置いておく

問3 私たちが家庭で使う水を大切にするために、日常生活の中で自分から進んでできる「節水」の工夫として、もっともふさわしいものはどれですか。

1. 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める 2. トイレに、溶けにくいゴミをいっしょに流す 3. 洗濯の回数を増やして、いつもきれいな水を使う 4. 庭にまく水として、新しい水道水をたくさん使う

問4 ある町では、何年もかけて住む人の数（人口）がふえ続けています。このとき、町の水の使用量はどのようになっていると考えられますか。

1. 水の使用量は変わらず、ずっと一定である 2. 人口がふえると、水の使用量は自動的に半分になる 3. 人口がふえた分だけ、水の使用量も必ずふえる 4. 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある

問5 どうして物をそのまま捨てるのではなく、「リサイクル」をする必要があるのでしょうか。もっとも大切な理由を選びましょう。

1. ゴミを減らして、地球の限られた資源を大切に使うため 2. ゴミを燃やすと、火事の原因になることがあるから 3. 新しい製品を作ると、工場の人たちが疲れてしまうから 4. ゴミ収集の車を減らして、交通ルールを守るため

問6 水の流れを利用して電気を作る方法を何といますか。

1. 火力発電 2. 太陽光発電 3. 水力発電 4. 原子力発電

問7 下水処理場でしっかりときれいにした水は、どのような場所に利用されることがありますか。

1. 家庭用の水道から出る飲み水 2. 学校の給食に使う料理用の水 3. 競技場などの施設で使う水 4. 私たちがそのまま飲むための水

問8 ごみを捨てる時に、スチール缶やペットボトルなどを種類ごとに分けて出す「分別（ぶんべつ）」をするのはなぜですか。

1. ごみを集めるトラックの燃料が安くなるから 2. 燃えるごみの量が増えて、燃やすのが簡単になるから 3. 分別するとごみの全体の重さが軽くなり、持ち運びやすくなるから 4. ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから

問9 スーパーで買った豆腐の容器には、リサイクルするためにどのようなマークが表示されていますか。

1. アルミ缶マーク 2. 紙マーク 3. ペットボトルマーク 4. プラマーク

問10 火力発電で使われる石油や石炭などの化石燃料を使い続けると、将来どのような問題が起きると考えられていますか。

1. 燃料が枯渇する 2. 火力が弱くなる 3. 地球が寒くなる 4. 電気がすぐになくなる

問11 お店で買い物をするとき、お店の人からのレジ袋をこたわることは、4Rのうちのどれにあてはまりますか。

1. リデュース 2. リフューズ 3. リサイクル 4. リユース

問12 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる 2. また燃やして電気を作る 3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる 4. そのまま川や海に流す

問13 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何といますか。

1. エネルギー工場 2. スマートハウス 3. エコ住宅 4. オール電化

問14 一度使った水を、きれいにしてから再び使うことを何といますか。

1. 水の作り出し 2. 水の飲み捨て 3. 水の再利用 4. 水の蒸発

問15 台所から出る油や生ごみをそのまま下水道に流してはいけない一番の理由は何でしょう。

1. 下水道管の掃除をする人が、油や生ごみの処理を嫌がるから 2. 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから 3. 下水処理場は、どんなものでもすぐに分解してきれいにしてできるから 4. 油や生ごみは、下水道料金を高くするもとなるから

問16 家庭から出されたごみや資源を回収して、清掃工場まで運ぶために使われる特別な車を何といますか。

1. きゅうきゅう車 2. はしご車 3. じょうよう車 4. しゅう集車

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 ごみを適切に処理するため	私たちが日常生活で出すごみは、そのまましておく町が汚れてしまいます。しゅう集車で清掃工場へ集めることで、ごみを燃やしたりリサイクルしたりと、適切に処理して町を衛生的に保つことができるからです。
問2	答え 1 販売店に引き取りを依頼する	家電リサイクル法では、これらの大型家電は資源として再利用することが決められています。そのため、地域の粗大ごみとして捨てるのではなく、購入した店や買い替えをする店などに引き取りを頼み、メーカーが責任を持ってリサイクルする仕組みになっています。
問3	答え 1 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める	水を大切に使うためには、必要な分だけをむだなく使う心がけが大切です。歯みがき中に水を流しっぱなしにすると多くの水が無駄になってしまいます。ふろの残り湯を洗濯に利用したり、水が必要ない時には蛇口を閉めたりする小さな積み重ねが、大切な水資源を守ることにつながります。
問4	答え 4 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある	人口がふえると水の使用量も自動的に増えると思われがちですが、実際にはそうとは限りません。人々が毎日の生活の中で節水を心がけたり、工場などで水を再利用したりする工夫が進んでいるため、人口が増えても全体としての水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがあります。資源である水を大切にすることの社会的意識が高まっている証拠です。
問5	答え 1 ゴミを減らして、地球の限られた資源を大切に使うため	使い終わったものを再び原料として使うことで、新しく作るために使う資源を節約できます。また、ゴミとして埋め立てる量を減らすことで、環境を守ることにもつながります。
問6	答え 3 水力発電	高いところから低いところへ流れる水の力を使って、大きな機械（タービン）を回して電気を作る仕組みです。自然のエネルギーを利用した発電方法のひとつです。
問7	答え 3 競技場などの施設で使う水	下水処理場で浄化された水は、トイレの洗浄水や、競技場などの施設で使う水として活用されることがあります。ただし、一度使った水をきれいにしているとしても、私たちが普段飲んでいる水道水とは別の目的で使われます。
問8	答え 4 ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから	資源となるごみを正しく分別すると、それらを再び新しい製品の材料（資源）にすることができます。これにより、ごみとして燃やされたり埋め立てられたりする量を減らすことができるため、環境を守るための重要な活動となります。
問9	答え 4 ブラマーク	豆腐の容器のようなプラスチック製の容器包装には「ブラマーク」が表示されています。素材ごとに決められたマークを確認することで、適切にリサイクルに回すことができます。
問10	答え 1 燃料が枯渇する	地球上にある石油や石炭などの燃料は、無限にあるわけではありません。人間が使い続けると、いつかなくなる（枯渇する）可能性が高いため、新しいエネルギー源を探すことが大切になっています。
問11	答え 2 リフューズ	リフューズとは、ごみになるものを最初から受け取らない、つまり「断る」ことを指します。レジ袋などを断ることは、ごみを増やさないための大切な行動です。
問12	答え 3 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問13	答え 4 オール電化	オール電化とは、家の中で使うエネルギーをすべて電気にまとめる仕組みのことです。台所での料理や、お風呂の給湯にガスや灯油を使わず、電気のみだけで生活を行うのが特徴です。
問14	答え 3 水の再利用	限りある水資源を大切にするため、工場で機械を冷やすために使った水などをきれいにし、もう一度使うことを「水の再利用」といいます。一度使った水も、適切に処理することで、再び役に立つ資源に生まれ変わります。
問15	答え 2 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから	油や生ごみをそのまま流すと、管の中で固まって詰まりの原因になったり、下水処理場の浄化能力を超えてしまい、十分にきれいにならぬまま川や海へ流れて環境汚染を引き起こしたりします。下水道は魔法のように何でも消せる場所ではなく、一人ひとりの意識が大切です。
問16	答え 4 しゅう集車	しゅう集車は、町のごみを効率よく集めて運ぶために作られた特別な車です。この車があることで、家庭から出たごみが素早く清掃工場へ運ばれ、町の中をきれいに保つことができます。

問1 ごみを減らして地球の環境を守るための取り組みとして、リデュース・リユース・リサイクルに、「いらぬものを断る」という意味の「リフューズ」を加えた4つの考え方を何と呼びますか。

1. 4R (フォーアール) 2. 4T (フォーティー) 3. 4G (フォージー) 4. 4S (フォーエス)

問2 お店で買い物をするとき、お店の人からのレジ袋をこたわることは、4Rのうちのどれにあてはまりますか。

1. リデュース 2. リフューズ 3. リサイクル 4. リユース

問3 エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの大きな家電製品を捨てる時、法律によって決められた正しい捨て方はどれですか。

1. 販売店に引き取りを依頼する 2. 地域の粗大ごみとして出す 3. 自分で細かく壊して燃えるごみに出す 4. 近くの公園に置いておく

問4 なぜ発電所でつくられた電気を、そのまま家庭に送らずに、一度「変電所」を通す必要があるのでしょうか。

1. 電気をためておくため 2. 電気を別のエネルギーに変えるため 3. 電気をきれいに掃除するため 4. 電気の電圧を使いやすく調整するため

問5 浄水場では、水の中の小さな汚れを取りのぞくために、砂などの層を通してきれいにする「ろ過」という作業を行います。では、きれいになった水を各家庭に届ける直前に一時的にためておく場所を何といいますか。

1. 貯水池 2. ダム 3. 下水処理場 4. 配水池

問6 清掃工場で、ごみを燃やしたときに出る熱は、どのように利用されていますか。

1. 電気を作ったり、温水プールを温めたりする 2. 畑にまくための肥料にする 3. ごみを燃やすための燃料にする 4. 新しいプラスチック製品の材料にする

問7 私たちが使った水を、わざわざ下水処理場できれいにしてから川や海にながすのはなぜですか。その一番の理由を選びましょう。

1. 地下の温度を一定に保つため 2. 雨水をためて飲み水を作るため 3. 川や海の生き物や、水のきれいな環境を守るため 4. 下水道管のつまりを防ぐため

問8 私たちが家庭で使う水を大切に守るために、日常生活の中で自分から進んでできる「節水」の工夫として、もっともふさわしいものはどれですか。

1. 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める 2. トイレに、溶けにくいゴミをいっしょに流す 3. 洗濯の回数を増やして、いつもきれいな水を使う 4. 庭にまく水として、新しい水道水をたくさん使う

問9 石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料をもやして電気をつくる方法を何といいますか。

1. 水力発電 2. 火力発電 3. 太陽光発電 4. 風力発電

問10 発電所でつくられた電気を、家庭や工場に届けるために電圧（電気の勢い）を下げる役割をしている場所はどこでしょう。

1. ダム 2. 発電所 3. 送電線 4. 変電所

問11 ごみを捨てる時に、スチール缶やペットボトルなどを種類ごとに分けて出す「分別（ぶんべつ）」をするのはなぜですか。

1. ごみを集めるトラックの燃料が安くなるから 2. 燃えるごみの量が増えて、燃やすのが簡単になるから 3. 分別するとごみの全体の重さが軽くなり、持ち運びやすくなるから 4. ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから

問12 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何といいますか。

1. リユース 2. リフューズ 3. リデュース 4. リサイクル

問13 清掃工場でごみを燃やす、一番の目的は何でしょうか。

1. ごみの体積を小さくして、埋め立てる場所を長持ちさせるため 2. ごみから有害な物質だけを取り出すため 3. ごみを燃やすことで、町を明るくするため 4. ごみを燃やして電気を作るため

問14 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる 2. また燃やして電気を作る 3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる 4. そのまま川や海に流す

問15 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。

1. ごみを外に捨てるため 2. ごみを細かく分けるため 3. ごみを適切に処理するため 4. ごみを家まで届けるため

問16 工場から出る「工場排水」について、工場が守らなければならない大切なルールは何でしょう。

1. 工場から出る排水は、すべて地下に深く埋めて捨てる 2. 工場排水は、どんなに汚れていても川へ直接流す 3. 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す 4. 工場が支払う税金で、下水処理場をいつも動かし続ける

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 4R（フォーアール）	環境を守るために資源を大切にする取り組みとして、ごみを減らすための3つの言葉（リデュース、リユース、リサイクル）に、いらぬものをもらわない・断るという意味の「リフューズ」を加えたものを4R（フォーアール）と呼びます。
問2	答え 2 リフューズ	リフューズとは、ごみになるものを最初から受け取らない、つまり「断る」ことを指します。レジ袋などを断ることは、ごみを増やさないための大切な行動です。
問3	答え 1 販売店に引き取りを依頼する	家電リサイクル法では、これらの大型家電は資源として再利用することが決められています。そのため、地域の粗大ごみとして捨てるのではなく、購入した店や買い替えをする店などに引き取りを頼み、メーカーが責任を持ってリサイクルする仕組みになっています。
問4	答え 4 電気の電圧を使いやすく調整するため	発電所でつくられた電気は非常に高い電圧のまま送られてくるため、そのまま家庭の電化製品に流すと故障してしまいます。そのため、変電所で安全に使える電圧に下げってから届ける必要があります。
問5	答え 4 配水池	浄水場でしっかりとよごれを落としてきれいになった水は、配水池という場所にためられます。そこから、たくさんの水道管を通して、みんなの家の蛇口まで水が運ばれていきます。
問6	答え 1 電気を作ったり、温水プールを温めたりする	清掃工場でごみを燃やすときに出る熱（余熱）は、発電をして工場や地域の電気として使われたり、温水プールや近くの施設にお湯を送って温めたりするのに利用されています。
問7	答え 3 川や海の生き物や、水のきれいな環境を守るため	使った水をそのまま川や海にながしてしまうと、水がよごれて生き物が住めなくなったり、環境が悪化したりしてしまいます。そのため、下水処理場でしっかりと汚れを取りのぞき、環境への負担を小さくしてから外にながす仕組みになっています。
問8	答え 1 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める	水を大切に使うためには、必要な分だけをむだなく使う心がけが大切です。歯みがき中に水を流しっぱなしにすると多くの水が無駄になってしまいます。ふろの残り湯を洗濯に利用したり、水が必要ない時には蛇口を閉めたりする小さな積み重ねが、大切な水資源を守ることにつながります。
問9	答え 2 火力発電	石油、石炭、天然ガスといった燃料を燃やすことで発生する熱エネルギーを利用して電気をつくる仕組みを火力発電と呼びます。他の発電方法と区別する重要なポイントです。
問10	答え 4 変電所	発電所では電気をつくりますが、つくられた電気はそのままでは強すぎるため、変電所という場所で私たちが使いやすい電圧に下げた後、家庭や工場へ送られています。
問11	答え 4 ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから	資源となるごみを正しく分別すると、それらを再び新しい製品の材料（資源）にすることができます。これにより、ごみとして燃やされたり埋め立てられたりする量を減らすことができるため、環境を守るための重要な活動となります。
問12	答え 4 リサイクル	一度バラバラにして原料の状態に戻すことがポイントです。そのままの形で繰り返し使う「リユース」と間違えないようにしましょう。
問13	答え 1 ごみの体積を小さくして、埋め立てる場所を長持ちさせるため	ごみをそのまま埋め立てると、すぐに埋め立てる場所がいっぱいになってしまいます。そのため、清掃工場でごみを燃やして体積を小さくし、埋め立て地の寿命を延ばすことが重要な役割の一つです。電気を作ることも行われていますが、それは燃やした時の熱を上手に活用する取り組みの一つです。
問14	答え 3 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問15	答え 3 ごみを適切に処理するため	私たちが日常生活で出すごみは、そのままにしておくと町が汚れてしまいます。しゅう集車で清掃工場へ集めることで、ごみを燃やしたりリサイクルしたりと、適切に処理して町を衛生的に保つことができるからです。
問16	答え 3 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す	工場から出る排水には、普通の生活排水とは異なる汚れが含まれていることがあります。そのため、環境を守るためには、工場がしっかりと汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流すというルール（責任）があります。

問1 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる 2. また燃やして電気を作る 3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる 4. そのまま川や海に流す

問2 家や学校で使ったあとのよごれた水は、どこへ運ばれてきれいに処理がおこなわれますか。

1. 下水処理場 2. 浄水場 3. 給水所 4. ダム

問3 清掃工場で、ごみを燃やしたときに出る熱は、どのように利用されていますか。

1. 電気を作ったり、温水プールを温めたりする 2. 畑にまくための肥料にする 3. ごみを燃やすための燃料にする 4. 新しいプラスチック製品の材料にする

問4 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。

1. リサイクルをするよりも、リデュースのほうが面白いから 2. ごみを出したあとの処理が一番楽だから 3. ごみそのものが出なければ、そのあとの処理の手間やエネルギーもいらなくなるから 4. リサイクル工場が足りなくなっているから

問5 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何といいますか。

1. エネルギー工場 2. スマートハウス 3. エコ住宅 4. オール電化

問6 私たちが使った水を、わざわざ下水処理場できれいにしてから川や海にながすのはなぜですか。その一番の理由を選びましょう。

1. 地下の温度を一定に保つため 2. 雨水をためて飲み水を作るため 3. 川や海の生き物や、水のきれいな環境を守るため 4. 下水道管のつまりを防ぐため

問7 清掃工場でごみを燃やすとき、空気中に有害な物質が広がらないようにするために、どのような工夫をしていますか。

1. ごみピットの中に空気が入らないようにしている 2. クレーンでごみを細かくしてから燃やしている 3. はいガス処理装置で有害な物質を取り除いている 4. ごみを燃やす前に水で洗っている

問8 台所から出る油や生ごみをそのまま下水道に流してはいけない一番の理由は何でしょう。

1. 下水道管の掃除をする人が、油や生ごみの処理を嫌がるから 2. 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから 3. 下水処理場は、どんなものでもすぐに分解してきれいにできるから 4. 油や生ごみは、下水道料金を高くするものになるから

問9 家電リサイクル法という法律がある理由として、最も適切なものはどれですか。

1. 古い家電を修理して、新しい製品を売らないようにするため 2. 家電メーカーが新しい製品をたくさん作るようにするため 3. 電気代を安くするために、古い家電を早く捨てさせるため 4. 家電をリサイクルして、中の部品や材料を資源として有効に使うため

問10 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何といいますか。

1. リユース 2. リフューズ 3. リデュース 4. リサイクル

問11 原子力発電で、電気を作るための燃料として使われるものは何ですか。

1. 石油 2. ウラン 3. 天然ガス 4. 石炭

問12 川から取り入れたばかりの水は、そのままでは飲めません。安全に飲めるようにするために、水をきれいに処理する施設のことを何といいますか。

1. 取水所 2. 配水池 3. ろ過場 4. 浄水場

問13 発電所からつくられた電気を、遠く離れた場所まで運ぶために使われるものはどれでしょう。

1. 火力発電 2. 送電線 3. 太陽光パネル 4. 配水管

問14 使い終わった後に、もう一度新しい製品の材料として作り変えることができるごみのことを何と言いますか。

1. 有害ごみ 2. 粗大ごみ 3. 資源化物 4. 不燃ごみ

問15 ある町では、何年もかけて住む人の数（人口）がふえ続けています。このとき、町の水の使用量はどのように変わっていると考えられますか。

1. 水の使用量は変わらず、ずっと一定である 2. 人口がふえると、水の使用量は自動的に半分になる 3. 人口がふえた分だけ、水の使用量も必ずふえる 4. 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある

問16 新聞や雑誌などの紙類を正しく分別して出すと、何に生まれ変わることが多いでしょう。

1. ガラスびん 2. トイレトーパー 3. 新しい新聞紙のインク 4. プラスチックの容器

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問2	答え 1 下水処理場	私たちが使った水は、地下にある下水道管を通して「下水処理場」へ集められます。そこで水をきれいに処理してから、川や海へ放流することで、地域の水環境を守っています。浄水場は、逆に川の水をきれいにして飲み水を作る場所なので、混同しないようにしましょう。
問3	答え 1 電気を作ったり、温水プールを温めたりする	清掃工場でごみを燃やすときに出る熱（余熱）は、発電をして工場や地域の電気として使われたり、温水プールや近くの施設にお湯を送って温めたりするのに利用されています。
問4	答え 3 ごみそのものが出なければ、そのあとの処理の手間やエネルギーもいらなくなるから	ごみが出てからリサイクルするのも、実は多くのエネルギーや手間がかかります。一番の解決策は、そもそもごみを出さないように工夫すること（リデュース）です。
問5	答え 4 オール電化	オール電化とは、家の中で使うエネルギーをすべて電気にまとめる仕組みのことです。台所での料理や、お風呂の給湯にガスや灯油を使わず、電気のみだけで生活を行うのが特徴です。
問6	答え 3 川や海の生き物や、水のきれいな環境を守るため	使った水をそのまま川や海にながしてしまうと、水がよごれて生き物が住めなくなったり、環境が悪化したりしてしまいます。そのため、下水処理場でしっかりと汚れを取りのぞき、環境への負担を小さくしてから外にながす仕組みになっています。
問7	答え 3 はいガス処理装置で有害な物質を取り除いている	ごみを燃やすと煙やガスが発生しますが、そのまま外に出すと環境によくありません。そのため、清掃工場には「はいガス処理装置」があり、有害な物質をしっかりと取り除いてから、きれいな空気にして外へ出しています。
問8	答え 2 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから	油や生ごみをそのまま流すと、管の中で固まって詰まりの原因になったり、下水処理場の浄化能力を超えてしまい、十分にきれいにならないまま川や海へ流れて環境汚染を引き起こしたりします。下水道は魔法のように何でも消せる場所ではなく、一人ひとりの意識が大切です。
問9	答え 4 家電をリサイクルして、中の部品や材料を資源として有効に使うため	大型家電には、鉄や銅、プラスチックなど、再利用できる貴重な材料が多く含まれています。これらを単にごみとして埋め立てるのではなく、メーカーが責任を持って回収・分解し、再び材料として使うことで、限りある資源を大切にするためにこの法律が作られました。
問10	答え 4 リサイクル	一度バラバラにして原料の状態に戻すことがポイントです。そのままの形で繰り返し使う「リユース」と間違えないようにしましょう。
問11	答え 2 ウラン	原子力発電は、ウランという物質が核分裂するときに出る熱エネルギーを利用して電気を作ります。石炭、石油、天然ガスは火力発電の燃料です。
問12	答え 4 浄水場	浄水場は、川から取った水にまざっている泥や汚れを取りのぞき、消毒をして家庭へ送るための大切な施設です。私たちが毎日安心して水を使えるのは、この施設があるおかげです。
問13	答え 2 送電線	発電所からつくられた電気は、長い電線である送電線を通して、街の変電所まで運ばれます。このネットワークがあるおかげで、私たちは離れた場所でつくられた電気を使うことができます。
問14	答え 3 資源化物	スチール缶や新聞紙、ペットボトルなどは、適切に分別して出すことで、再び鉄や紙、服などの材料として生まれ変わることができます。このように、再び資源として再利用できるごみのことを資源化物と呼びます。
問15	答え 4 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある	人口が増えると水の使用量も自動的に増えると思われがちですが、実際にはそうとは限りません。人々が毎日の生活の中で節水を心がけたり、工場などで水を再利用したりする工夫が進んでいるため、人口が増えても全体としての水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがあります。資源である水を大切にすることは、社会の意識が高まっている証拠です。
問16	答え 2 トイレトーパー	新聞や雑誌などの古紙は、回収された後に工場で溶かされ、再び紙製品としてリサイクルされます。その代表的な例が、私たちが毎日使うトイレトーパーです。このように資源を循環させることは、ごみを減らすためにとても大切なことです。

問1 使い終わった後に、もう一度新しい製品の材料として作り変えることができるごみのことを何と言いますか。

1. 有害ごみ 2. 粗大ごみ 3. 資源化物 4. 不燃ごみ

問2 川から取り入れたばかりの水は、そのままでは飲めません。安全に飲めるようにするために、水をきれいに処理する施設のことを何と言いますか。

1. 取水所 2. 配水池 3. ろ過場 4. 浄水場

問3 台所から出る油や生ごみをそのまま下水道に流してはいけない一番の理由は何でしょう。

1. 下水道管の掃除をする人が、油や生ごみの処理を嫌がるから 2. 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから 3. 下水処理場は、どんなものでもすぐに分解してきれいになるから 4. 油や生ごみは、下水道料金を高くするものになるから

問4 家や学校で使ったあとのよごれた水は、どこへ運ばれてきれいに処理がおこなわれますか。

1. 下水処理場 2. 浄水場 3. 給水所 4. ダム

問5 エネルギー源を燃やして、その熱で電気を作り出す方法を何と言いますか。

1. 太陽光発電 2. 火力発電 3. 水力発電 4. 風力発電

問6 私たちが家庭で使う水は、川から直接流れてくるのではなく、必ず浄水場を通るようになっています。なぜ、わざわざ浄水場できれいにする必要がありますのでしょうか。

1. 川の水の温度を家庭で使いやすいように上げるため 2. 川の水の流れを速くして、家庭まで早く届けるため 3. 川の水を一度ためておかないと、すぐに売り切れてしまうから 4. 川の水には泥や目に見えない汚れがふくまれているから

問7 清掃工場でごみを燃やすとき、空気中に有害な物質が広がらないようにするために、どのような工夫をしていますか。

1. ごみピットの中に空気が入らないようにしている 2. クレーンでごみを細かくしてから燃やしている 3. はいガス処理装置で有害な物質を取り除いている 4. ごみを燃やす前に水で洗っている

問8 火力発電で使われる石油や石炭などの化石燃料を使い続けると、将来どのような問題が起きると考えられていますか。

1. 燃料が枯渇する 2. 火力が弱くなる 3. 地球が寒くなる 4. 電気がすぐになくなる

問9 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる 2. また燃やして電気を作る 3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる 4. そのまま川や海に流す

問10 リユースを進めることで、どのような良い効果がありますか。

1. 新しい製品をたくさん作ることができる 2. ごみを小さくして埋め立てる場所を増やす 3. ごみの量を減らし、資源を無駄にしない 4. ごみを燃やすことで電気を作る

問11 日本で水力発電が昔からさかんに利用されてきた理由は、どのような自然環境があるからですか。

1. 雪がほとんど降らず、冬でも川が凍らないから 2. 山が多く、雨もよく降るため水が豊かだから 3. 平らな土地が広く、川がとても穏やかだから 4. 砂漠が多く、水がとても貴重な場所だから

問12 工場から出る「工場排水」について、工場が守らなければならない大切なルールは何でしょう。

1. 工場から出る排水は、すべて地下に深く埋めて捨てる 2. 工場排水は、どんなに汚れていても川へ直接流す 3. 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す 4. 工場が支払う税金で、下水処理場をいつも動かす続ける

問13 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。

1. リサイクルをするよりも、リデュースのほうが面白いから 2. ごみを出したあとの処理が一番楽だから 3. ごみそのものが出なければ、そのあとの処理の手間やエネルギーもいらなくなるから 4. リサイクル工場が足りなくなっているから

問14 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何と言いますか。

1. エネルギー工場 2. スマートハウス 3. エコ住宅 4. オール電化

問15 家庭で「ふろの残り湯」を洗濯に使うのは、なぜ水資源を守るために良いことなのでしょう。

1. 一度使った水を捨てずに有効活用することで、新しい水道水を減らせるから 2. 残り湯を使うと、洗剤をたくさん使わなくて済むから 3. お湯を使うほうが、服の汚れがよく落ちるから 4. 洗濯機を冷やすために、お湯の温度が必要だから

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 資源化物	スチール缶や新聞紙、ペットボトルなどは、適切に分別して出すことで、再び鉄や紙、服などの材料として生まれ変わることができます。このように、再び資源として再利用できるごみのごみを資源化物と呼びます。
問2	答え 4 浄水場	浄水場は、川から取った水にまざっている泥や汚れを取りのぞき、消毒をして家庭へ送るための大切な施設です。私たちが毎日安心して水を使えるのは、この施設があるおかげです。
問3	答え 2 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから	油や生ごみをそのまま流すと、管の中で固まって詰まりの原因になったり、下水処理場の浄化能力を超えてしまい、十分にきれいにならないまま川や海へ流れて環境汚染を引き起こしたりします。下水道は魔法のように何でも消せる場所ではなく、一人ひとりの意識が大切です。
問4	答え 1 下水処理場	私たちが使った水は、地下にある下水道管を通して「下水処理場」へ集められます。そこで水をきれいにする処理をしてから、川や海へ放流することで、地域の水環境を守っています。浄水場は、逆に川の水をきれいにして飲み水を作る場所なので、混同しないようにしましょう。
問5	答え 2 火力発電	石炭や石油などの燃料を燃やすことで出る熱を利用して電気を作る方法を火力発電といいます。水力発電は水の流れを、太陽光発電は太陽の光を、風力発電は風の力をそれぞれエネルギー源として利用しています。
問6	答え 4 川の水には泥や目に見えない汚れがふくまれているから	川から取り入れた水には、土や砂、目には見えない小さな生き物などのよごれがふくまれています。そのままでは飲むことができないため、浄水場でこれらの汚れを取りのぞき、消毒をしてから私たちの家へ送っているのです。
問7	答え 3 はいガス処理装置で有害な物質を取り除いている	ごみを燃やすと煙やガスが発生しますが、そのまま外に出すと環境によくありません。そのため、清掃工場には「はいガス処理装置」があり、有害な物質をしっかりと取り除いてから、きれいな空気にして外へ出しています。
問8	答え 1 燃料が枯渇する	地球上にある石油や石炭などの燃料は、無限にあるわけではありません。人間が使い続けると、いつかなくなる（枯渇する）可能性が高いため、新しいエネルギー源を探ることが大切になっています。
問9	答え 3 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問10	答え 3 ごみの量を減らし、資源を無駄にしない	物を大切にすることで繰り返し使うことで、本来ごみになるはずだったものを減らすことができます。これにより、新しい物を作るために使う資源の消費を抑え、限りある資源を効率よく使うことにつながります。
問11	答え 2 山が多く、雨もよく降るため水が豊かだから	水力発電には、高い位置から勢いよく流れる水が必要です。日本は山地が多くて高低差があり、雨もよく降るため、この発電方法に適した自然環境が整っています。
問12	答え 3 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す	工場から出る排水には、普通の生活排水とは異なる汚れが含まれていることがあります。そのため、環境を守るためには、工場がしっかりと汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流すというルール（責任）があります。
問13	答え 3 ごみそのものが出なければ、そのあとの処理の手間やエネルギーもいらなくなるから	ごみが出てからリサイクルするのも、実は多くのエネルギーや手間がかかります。一番の解決策は、そもそもごみを出さないように工夫すること（リデュース）です。
問14	答え 4 オール電化	オール電化とは、家の中で使うエネルギーをすべて電気にまとめる仕組みのことです。台所での料理や、お風呂の給湯にガスや灯油を使わず、電気のみだけで生活を行うのが特徴です。
問15	答え 1 一度使った水を捨てずに有効活用することで、新しい水道水を減らせるから	私たちが家庭で使う水道水には限りがあります。一度お風呂に使った水をそのまま捨ててしまうのではなく、もう一度洗濯に利用することで、新たに使う水道水の量を減らすことができます。このように、資源を無駄にせず繰り返し使う工夫は、地球の限られた水資源を守るために非常に重要な取り組みです。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 4 配水池	浄水場でしっかりとよごれを落としてきれいになった水は、配水池という場所にためられます。そこから、たくさんの水道管を通して、みんなの家の蛇口まで水が運ばれていきます。
問2	答え 3 人口の数にかかわらず、一人ひとりが日頃から節水を心がける	水は限りある資源であるため、人口が多いか少ないかに関係なく、一人ひとりが効率的に使う努力が必要です。生活の中での節水や、水を汚さない工夫をみんなで進めることで、未来へ向けて安定して水を使うことができるようになります。
問3	答え 1 お弁当の食べ残しを肥料にして畑にまく	生ごみを肥料にして土に還すのは、形を変えて新しく利用するリサイクルの一種です。服をそのまま譲ったり、物を修理して使い続けたりするのは、原料に戻さないため「リユース」にあたります。
問4	答え 2 それぞれの発電方法で環境への影響やエネルギーの使いやすさが違うから	火力発電や原子力発電、自然の力を利用する発電には、それぞれメリットとデメリットがあります。例えば、資源がなくなる心配や地球環境への影響などが異なるため、目的にあわせて組み合わせたり使い分けたりすることが大切です。
問5	答え 4 ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから	資源となるごみを正しく分別すると、それらを再び新しい製品の材料（資源）にすることができます。これにより、ごみとして燃やされたり埋め立てられたりする量を減らすことができるため、環境を守るための重要な活動となります。
問6	答え 4 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある	人口が増えると水の使用量も自動的に増えると思われがちですが、実際にはそうとは限りません。人々が毎日の生活の中で節水を心がけたり、工場などで水を再利用したりする工夫が進んでいるため、人口が増えても全体としての水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがあります。資源である水を大切にできる社会の意識が高まっている証拠です。
問7	答え 3 ごみを正しく分別するため	リサイクルマークは、その製品が何からできているかを示しています。マークを確認して素材ごとに正しく分けることで、ごみを資源として再利用（リサイクル）しやすくなります。
問8	答え 4 有害な物質を取り除いて、空気をきれいにする	ごみをそのまま放置すると不衛生になり、病気の原因になることもあります。清掃工場では、衛生的で安全にごみを処理するために、有害な物質をしっかりと取り除いてから煙を出すなど、地域の環境を守る工夫をしています。
問9	答え 2 トイレットペーパー	新聞や雑誌などの古紙は、回収された後に工場で溶かされ、再び紙製品としてリサイクルされます。その代表的な例が、私たちが毎日使うトイレットペーパーです。このように資源を循環させることは、ごみを減らすためにとても大切なことです。
問10	答え 1 4R（フォーアール）	環境を守るために資源を大切にできる取り組みとして、ごみを減らすための3つの言葉（リデュース、リユース、リサイクル）に、いらぬものをもらわない・断るという意味の「リフューズ」を加えたものを4R（フォーアール）と呼びます。
問11	答え 1 電気を作ったり、温水プールを温めたりする	清掃工場でごみを燃やすときに出る熱（余熱）は、発電をして工場や地域の電気として使われたり、温水プールや近くの施設にお湯を送って温めたりするのに利用されています。
問12	答え 4 変電所	発電所では電気をつくりませんが、つくられた電気はそのままでは強すぎるため、変電所という場所で私たちが使いやすい電圧に下げた後、家庭や工場へ送られています。
問13	答え 2 リフューズ	リフューズとは、ごみになるものを最初から受け取らない、つまり「断る」ことを指します。レジ袋などを断ることは、ごみを増やさないための大切な行動です。
問14	答え 2 送電線	発電所からつくられた電気は、長い電線である送電線を通して、街の変電所まで運ばれます。このネットワークがあるおかげで、私たちは離れた場所でもつくられた電気を使うことができます。
問15	答え 4 プラマーク	豆腐の容器のようなプラスチック製の容器包装には「プラマーク」が表示されています。素材ごとに決められたマークを確認することで、適切にリサイクルに回すことができます。
問16	答え 3 ごみの量を減らし、資源を無駄にしない	物を大切にすることで繰り返し使うことで、本来ごみになるはずだったものを減らすことができます。これにより、新しい物を作るために使う資源の消費を抑え、限りある資源を効率よく使うことにつながります。